

第53回シニア県展の入賞作品について

1 趣旨

この美術展は、作品創作をとおして高齢者の生きがいくくりと積極的な社会参加の推進を目的として毎年開催しています。

8月29日、30日の審査の結果、今年度の受賞者が決定したので発表します。

2 出品点数及び入賞点数

種目	出品点数	入賞点数					計
		最優秀賞	金賞	銀賞	銅賞	佳作	
日本画	28	1	1	1	1	3	7
洋画	56	1	1	1	2	4	9
書	20	1	1	1	1	2	6
工芸	41	1	1	1	1	3	7
写真	41	1	1	1	1	3	7
計	186	5	5	5	6	15	36
最高齢者賞	男性1名、女性1名						2
奈良県社会福祉協議会特別賞							5
総計							43

- 3 最優秀作品 日本画：高谷 宣孝 「Holly hock (立葵)」
(敬称略) 洋画：長尾 弘 「ゴジラ -1.0」
書：藤本 龍嶽 「臨・石鼓文」
工芸：藤吉 光子 「曙」
写真：大原 剛 「のぞき見」

- 4 最高齢者賞 男性：洋画 越尾 冠一 (91歳)
女性：工芸 松川 富士代 (91歳)
※過去に最高齢者賞を受賞した方の作品は除く
※90歳以上の出品は8点

5 表彰式

- (1) 日時 令和6年9月3日(火) 10:30~11:15
(2) 会場 大和高田市文化会館(さざんかホール) 小ホール

6 作品展示

- (1) 期間 令和6年9月3日(火)、9月4日(水) 9:30~16:00
(2) 会場 大和高田市文化会館(さざんかホール) 展示ホール

第53回シニア県展 審査員講評

【日本画の部】

昨年より出品点数は増えましたが、50号の大作が少なくなり残念ですが、多様なモチーフで制作された作品群が、豊かな絵画世界を表現した展示となりました。

<最優秀賞>

今回の秀作です。

立葵をモチーフに、巧みな画面構成で作者のイメージ世界を表現しています。落ち着いた色調で、立葵が仏画を想わせる浄土観を表出しています。



【洋画の部】

よく描き込まれた作品が多く出品されました。

少し小さい作品が多く大作に挑戦していただきたいと感じました。受賞された作品は比較的大作で重厚な作品が多く、テーマもよく考えられ好感のもてる作品が多かったです。さらに具象ばかりでなく抽象にも目を向けていただきたいと思います。

<最優秀賞>

よく見るテーマですが下の街並みの放射状に構成された構図、人波が面白く表現されています。なにより細かくちぎった紙をはり合わせた表現方法が見る人を感動させます。



【書の部】

出品点数は昨年より2点増え、20点となったが、他部門に比べ今年も少ない傾向でした。ただ、個々の作品は長年の経験もあり完成度の高いものが見られました。一部残念なのが誤字が散見されたことであり、今一度注意深く確認されることを望みます。

<最優秀賞>

大篆である石鼓の臨書は呉昌碩のものが有名である。この作は拓本である本来の石鼓を丁寧に臨書されている。半切四行の大きさの文字はむずかしく、努力のあとが伺える。



【工芸の部】

工芸の各分野において日頃の成果を十分に発揮され、精緻で観ていて楽しい作品が展示されています。

とくに、陶芸分野に意欲的な作品が多く、より創造的な挑戦を期待いたします。

<最優秀賞>

この作品は、意欲的な造形で器の色彩のグラデーションと白土の繊細な表現がかるやかなリズム感をかもしだしている優作です。



【写真の部】

第53回シニア県展の応募点数が大幅に減少したが、いろいろなモチーフの素晴らしい個性豊かな作品が、出品されました。

しかし、撮影のフレーミングに少しの気配りがあればもっと素晴らしい作品となったものも見受けられました。作品創作は人がすること、写すということは、努力のいることだと再認識し、感性を磨き、挑戦していただきたい。

<最優秀賞>

写真は、見たものをそのままではなく、感じた事をモチーフ・題名にすること。実体は蒸気機関車の動輪ですが、宇宙人の「のぞき見」と意味を与えられた創造力と大胆なフレーミング、リアルなカラー・質感に魅了される秀作です。



第 53 回シニア県展最高齢者賞作品

男性最高齢者賞
洋画:「二上山」
越尾 冠一 91 歳



女性最高齢者賞
工芸:「初夏の風景」
松川 富士代 91 歳